

全国学生調査分析結果

アンケートの回収率

2025年度は、ライフデザイン、歯科衛生学科、医療事務総合学科ともに授業内で実施し、回収率はライフデザイン総合学科（以下ライフ）が75%、歯科衛生学科（以下歯科）が72%、医療事務総合学科（以下医療）が94%となった。

年度	卒業者	回答者	回答率
2025年（ラ）	95人	71人	75%
2025年（歯）	75人	54人	72%
2025年（医）	33人	31人	94%
合計	203人	156人	77%

設問

問1 大学に入ってから受けた授業で、次の項目はどのくらいありましたか。

問1-1. 理解しやすいように教え方が工夫されていた。

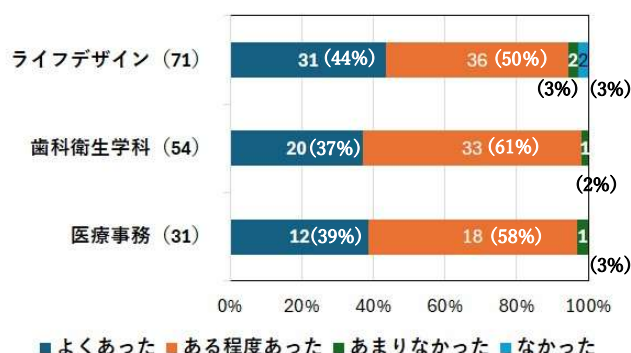
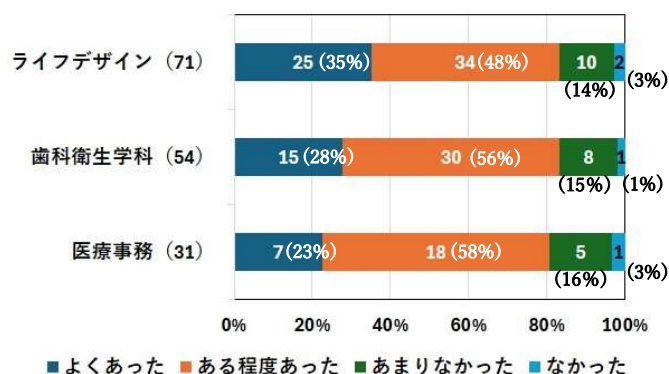


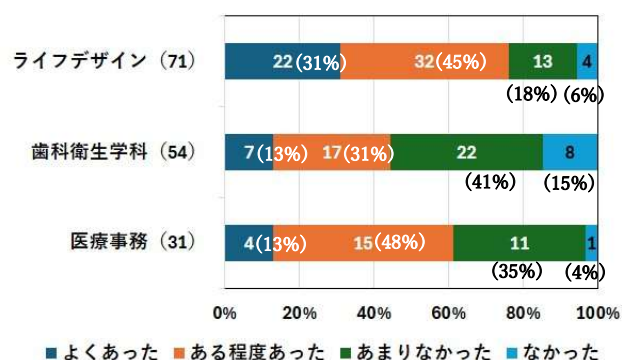
図 問1-1の解答結果

問1-2 予習・復習など授業時間外に行うべき学習が指示される。



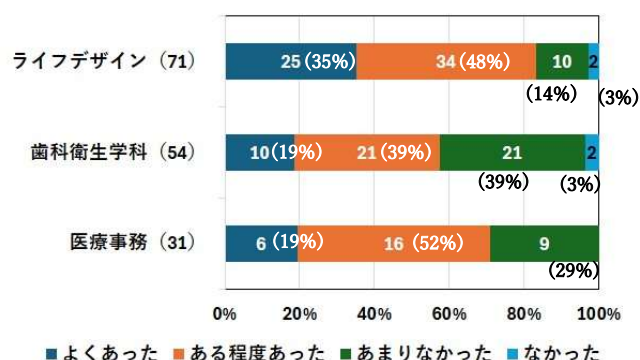
問1-2の回答結果

問1-3. 課題等の提出物に適切なコメントが付されて返却される。



問1-3の回答結果

問1-4. グループワークやディスカッションの機会がある。



問1-5. 質疑応答など、教員等との意見交換の機会がある。

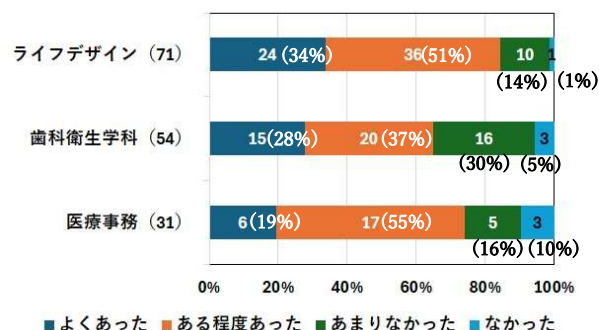


図 問1-5の回答結果

問1-6. ティーチングアシスタントなどによる補助的な指導がある。

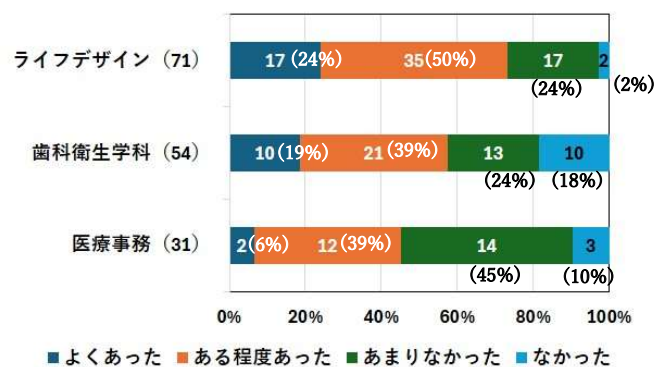


図 問1-6の回答結果

問 1 の結果

問 1-1 の教え方は、各学科「よくあった」、「ある程度あった」が 9 割以上と高くなっている。問 1-2 の授業時間外の学修の指示は、各学科「よくあった」、「ある程度あった」が 8 割以上となっている。問 1-3 の提出物へのコメントは、「よくあった」、「ある程度あった」はライフが 7 割以上、歯科が 4 割以上、医療が 6 割以上となった。問 1-4 のグループワークやディスカッションの機会は、「よくあった」、「ある程度あった」が、ライフは 8 割以上、歯科が 5 割以上、医療が 7 割以上となった。問 1-5 の教員との意見交換の機会は「よくあった」、「ある程度あった」はライフが 8 割以上、歯科が 6 割以上、医療が 7 割以上となった。問 1-6 のティーチングアシスタントについては「よくあった」、「ある程度あった」はライフが 7 割以上、歯科が 5 割以上、医療が 4 割以上となった。

問 2. 大学在学中に経験した以下の項目はどの程度有用だったと感じますか。

問 2-1. インターンシップ（5 日間以上）

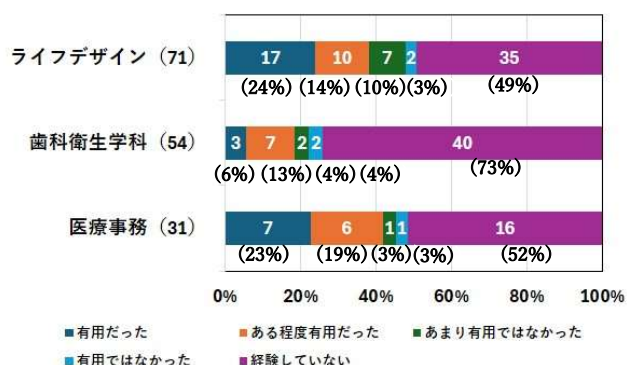


図 問 2-1 の回答結果

問 2-2. 海外留学・海外研修（短期も含む）

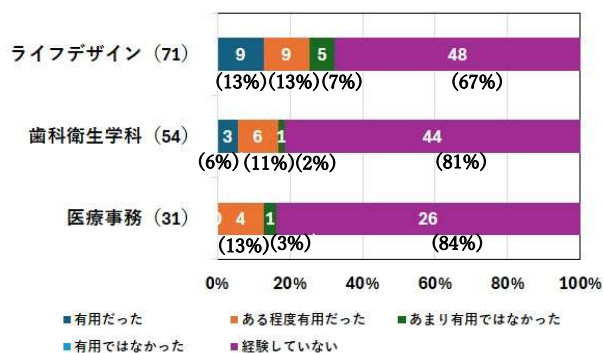


図 問 2-2 の回答結果

問 2-3. 主に英語で行われる授業の履修（語学科目を除く）

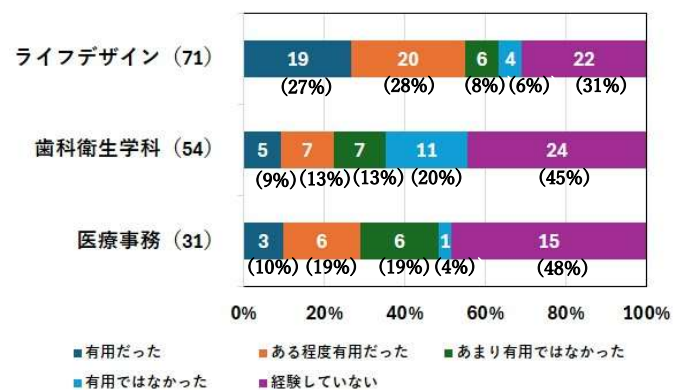


図 問 2-3 の回答結果

問 2 の結果

問 2-1 のインターンシップについては、「有用だった」「ある程度有用だった」はライフが 3 割以上、歯科が 2 割、医療が 4 割以上と低くなっている。問 2-2 の海外留学、海外研修は「有用だった」「ある程度有用だった」はライフが 2 割、歯科、医療は 1 割となっている。問 2-3 の英語で行われている授業の履修は、「有用だった」「ある程度有用だった」はライフが 5 割以上、歯科が 2 割、医療が 3 割となっている。

問 3. 大学教育を通じて、次のような知識や能力などが身に付いたと思いますか。

問 3-1. 専門分野に関する知識・理解

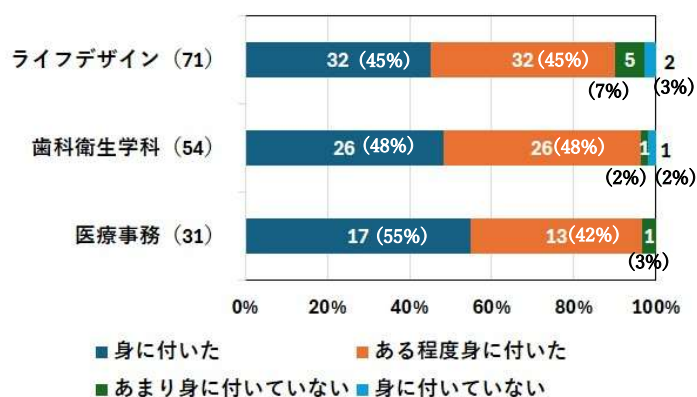


図 問 3-1 の回答結果

問 3-2. 将来の仕事につながるような知識・スキル・
態度・価値観

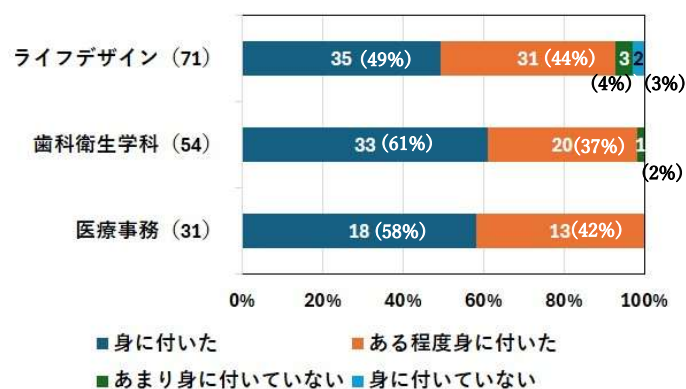


図 問 3-2 の回答結果

問 3-3. 文献・資料を収集・分析する力

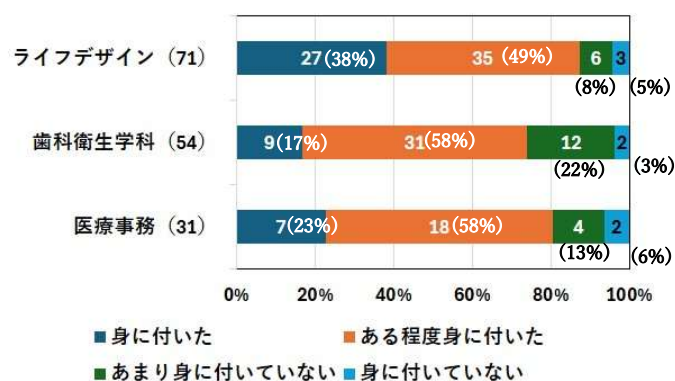


図 問 3-3 の回答結果

問 3-4. 論理的に文章を書く力

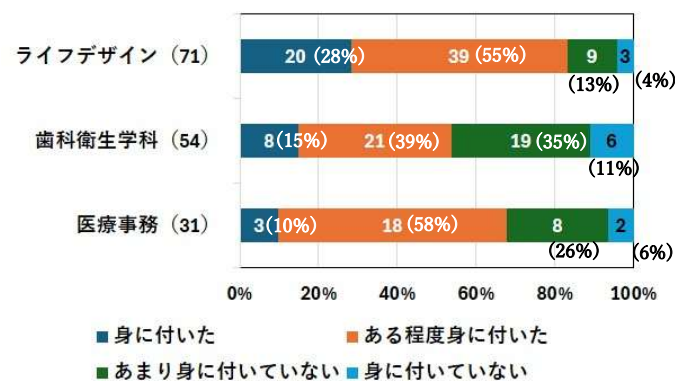


図 問 3-4 の回答結果

問 3-5. 人に分かりやすく話す力

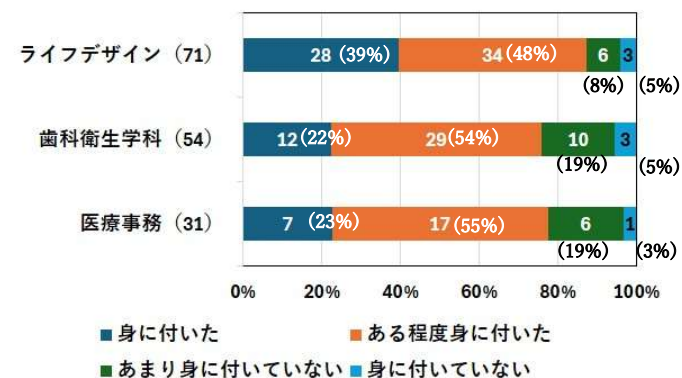


図 問 3-5 の回答結果

問 3-6. 外国語を使う力

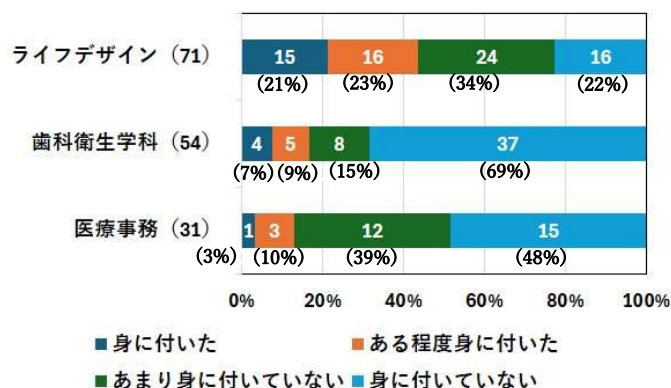


図 問 3-6 の回答結果

問 3-7. 数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能

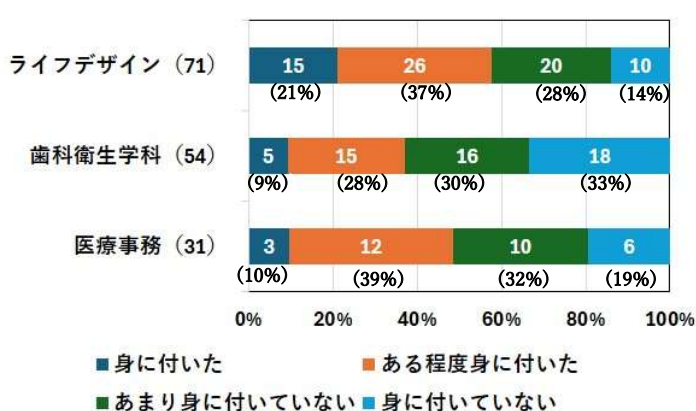


図 問 3-7 の回答結果

問 3-8. 問題を見つけて解決方法を考える力

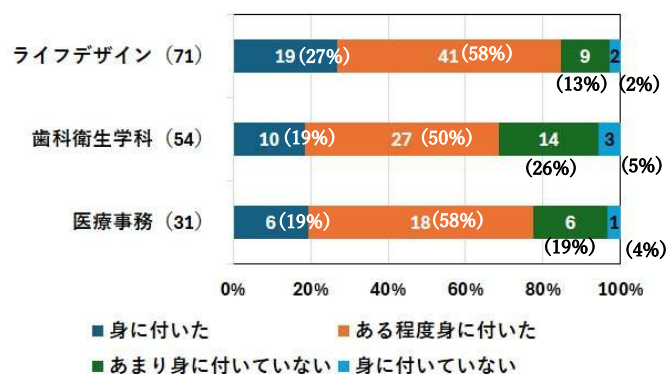


図 問 3-8 の回答結果

問 3-9. 他者と協働する力

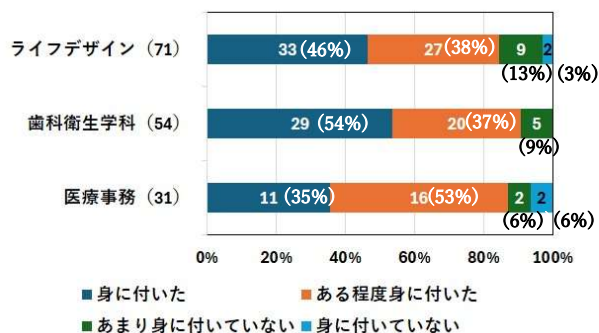


図 問 3-9 の回答結果

問 3-10. 幅広い知識、ものの見方

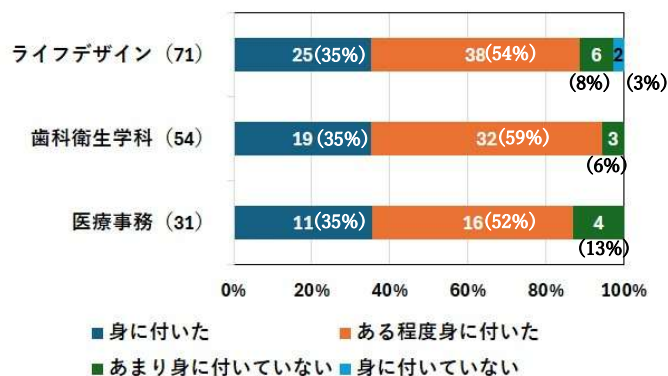


図 問 3-10 の回答結果

問 3-11. 異なる文化に関する知識・理解

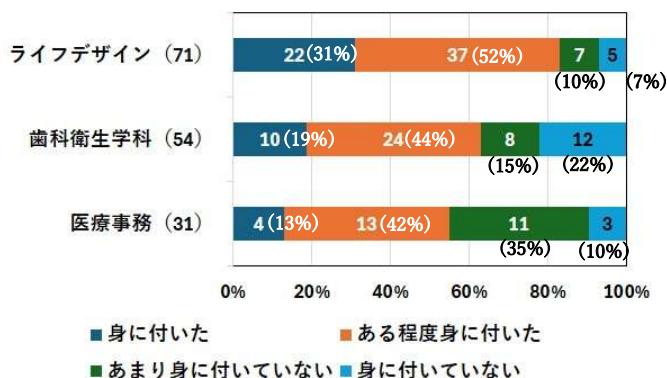


図 問 3-11 の回答結果

問 3 の結果

問 3-1 の専門分野に関する知識・理解及び問 3-2 の将来の仕事につながるような知識・スキル・態度・価値観は、各学科とも「身に付いた」「ある程度身に付いた」が 9 割以上となっている。問 3-3 の文献・資料を収集・分析する力はライフ、医療がともに 8 割、歯科が 7 割以上となっている。問 3-4 の論理的に文章を書く力はライフが 8 割以上、歯科が 5 割以上、医療が 6 割となった。問 3-5 の人に分かりやすく話す力はライフが 8 割以上、歯科、医療がともに 7 割以上となった。問 3-6 の外国語を使う力はライフが 4 割以上、歯科、医療がともに 1 割以上となった。問 3-7 の数理・統計・データサイエンスに関する知識・技能はライフが 5 割以上、歯科が 4 割以上、医療が 5 割となった。問 3-8 の問題を見つけて解決方法を考える力は、ライフが 8 割以上、歯科が 7 割、医療が 7 割以上となっている。問 3-9 の問題を見つけて解決方法を考える力及び問 3-10 の幅広い知識、ものの見方は、各学科ともに 8 割以上となっている。問 3-11 の異なる文化に関する知識・理解は、ライフが 8 割以上、歯科が 6 割以上、医療が 5

割以上となった。

問 4. これまでの大学での学び全体を振り返って、次の項目についてどのように思いますか。

問 4-1. 卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修している。

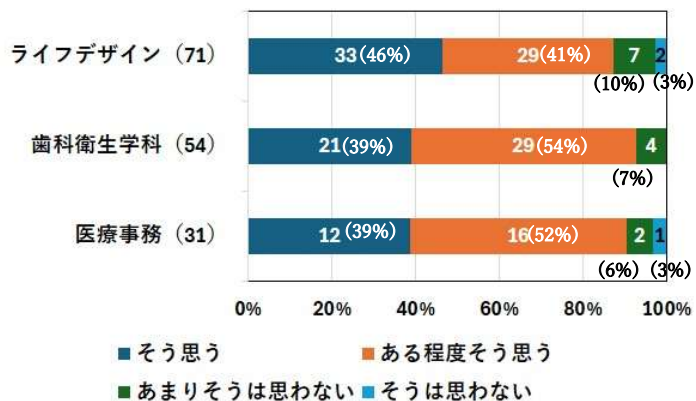


図 問 4-1 の回答結果

問 4-2. 授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっている。

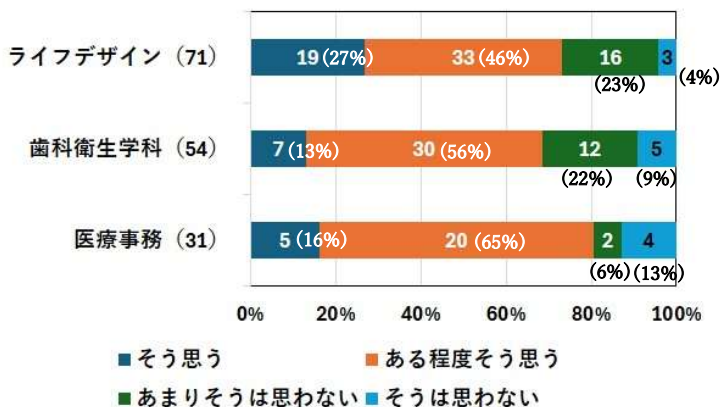


図 問 4-2 の回答結果

問 4-3. 教職員が熱心に教育に取り組んでいる。

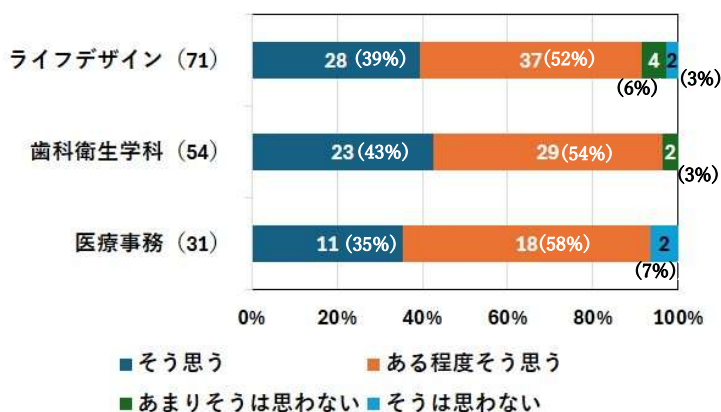


図 問 4-3 の回答結果

問 4-4. 大学の学びによって成長を実感している。

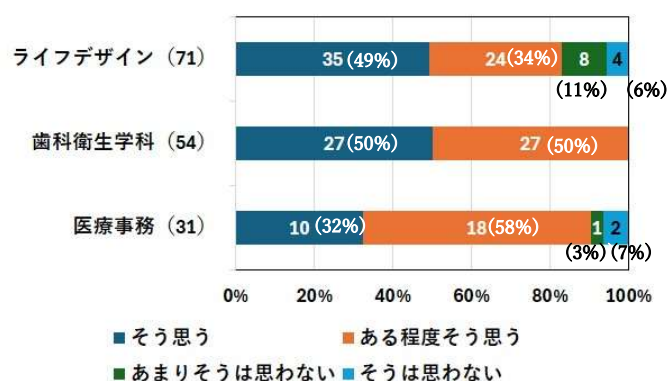


図 問 4-4 の回答結果

問 4 の結果

問 4-1 の卒業時まで身に付けるべき知識や能力を意識して学修しているは、「そう思う」「ある程度そう思う」はライフが 8 割以上、歯科、医療がともに 9 割以上となっている。問 4-2 の授業アンケート等の学生の意見を通じて大学教育が良くなっているは、ライフ、歯科が 7 割、医療は 8 割以上となっている。問 4-3 の教職員が熱心に教育に取り組んでいるは、各学科 9 割以上となっている。問 4-4 の大学の学びによって成長を実感しているは、ライフが 8 割以上、医療が 9 割以上、歯科は全員となっている。

問 5. 今年度後期の授業期間中の平均的な 1 週間(7 日間)の生活時間は、それぞれどのくらいですか。

問 5-1. 授業への出席（実験・実習、オンライン授業を含む）

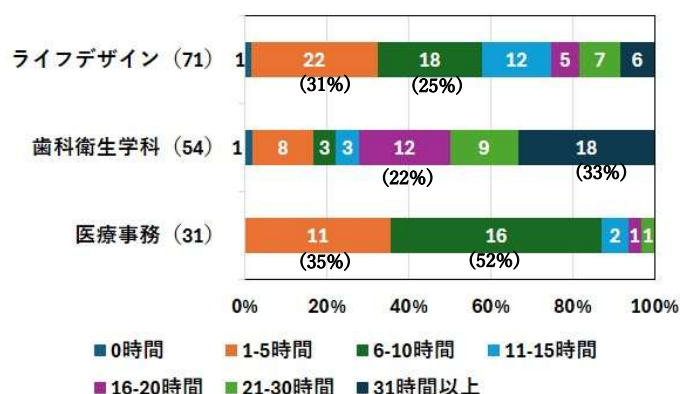


図 問 5-1 の回答結果

問 5-2. 卒業論文・卒業研究・卒業制作

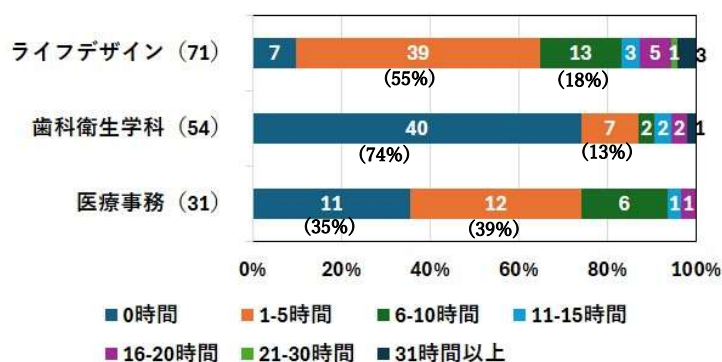


図 問 5-2 の回答結果

問 5-3. 予習・復習・課題など授業に関する学習（卒業論文等は除く）

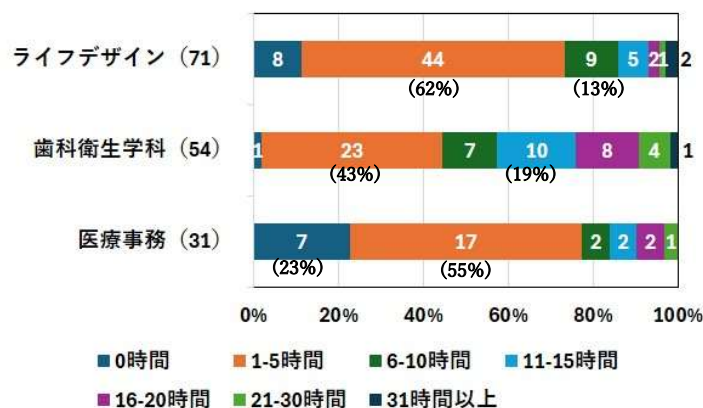


図 問 5-3 の回答結果

問 5-4. 授業と直接関係しない自主的な学習（学問に関する読書やディスカッション、実技の練習、資格試験の勉強等）

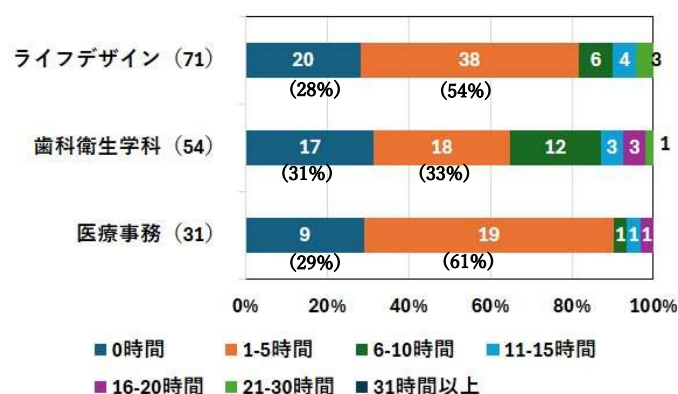


図 問 5-4 の回答結果

問 5-5. 部活動／サークル活動

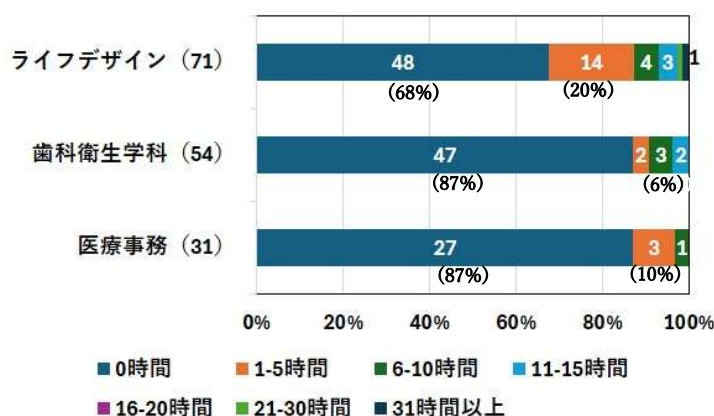


図 問 5-5 の回答結果

問 5-6. アルバイト／定職

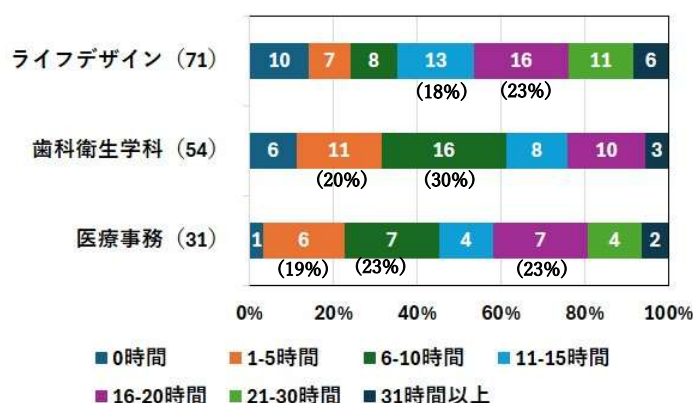


図 問 5-6 の回答結果

問 5 の結果

問 5-1 の授業への出席はライフが 1～5 時間が最も多く、次に 6～10 時間となっている。歯科は 31 時間以上が最も多く、次に 16～20 時間となっている。医療は、6～10 時間が最も多く、次に 1～5 時間となっている。問 5-2 の卒業論文・卒業研究・卒業制作はライフが 1～5 時間が最も多く、次に 6～10 時間となっている。歯科は 0 時間が最も多く、次に 1～5 時間となっている。医療は 1～5 時間が最も多く、次に 0 時間となっている。問 5-3 の予習・復習・課題など授業に関する学習は、ライフが 1～5 時間が最も多く、次に 6～10 時間となっている。歯科は 1～5 時間が最も多く、次に 11～15 時間となっている。医療は、1～5 時間が最も多く、次に 0 時間となっている。問 5-4 の授業と直接関係しない自主的な学習は、各学科ともに 1～5 時間が最も多く、次に 0 時間となっている。問 5-5 の部活動／サークル活動は、各学科 0 時間が最も多く、次に 1～5 時間となっている。問 5-6 のアルバイト／定職はライフが 16～20 時

間が最も多く、次いで 11～15 時間となっている。歯科は 6～10 時間が最も多く、次に 1～5 時間となっている。医療は、6～10 時間、16～20 時間が同率で最も多く、次に、1～5 時間となっている。

問 6. 卒業生アンケート

問 6-1. 本学に入学して良かったと感じている。

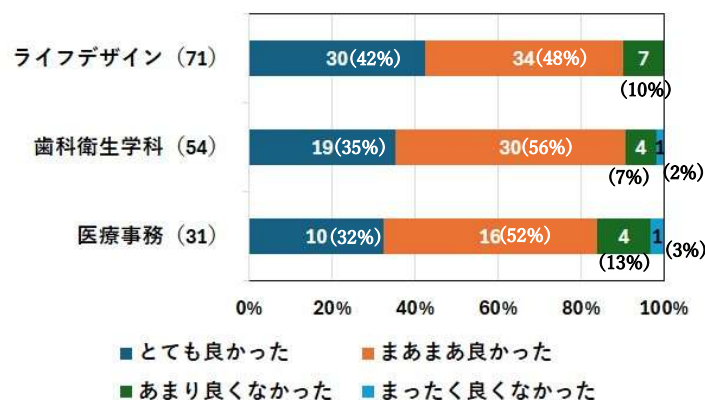


図 問 6-1 の回答結果

問 6-2. 学修に対する満足度

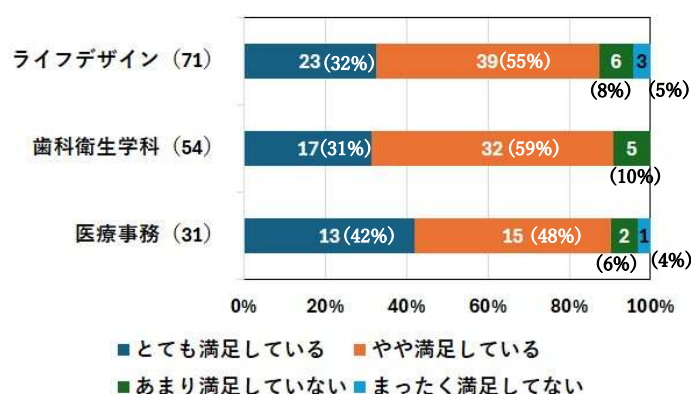


図 問 6-2 の回答結果

問 6-3. 卒業後の進路に対する満足度

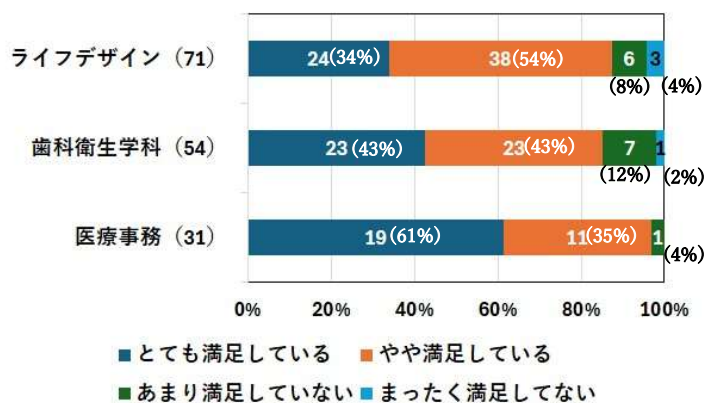


図 問 6-3 の回答結果

問 6-4. カリキュラム

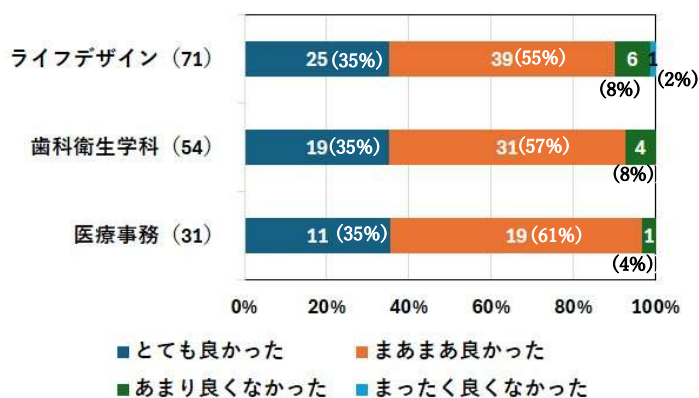


図 問 6-4 の回答結果

問 6-7. 留学制度・留学生との交流

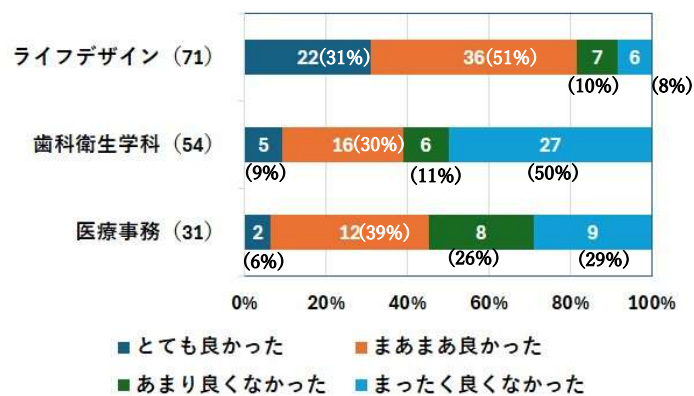


図 問 6-7 の回答結果

問 6-5. 成績評価

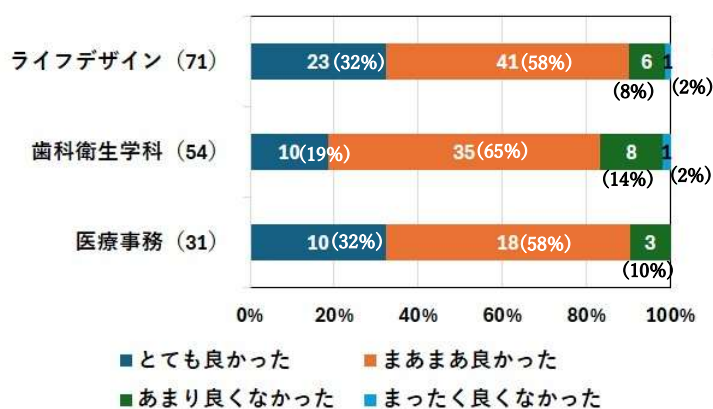


図 問 6-5 の回答結果

問 6-8. 学生支援

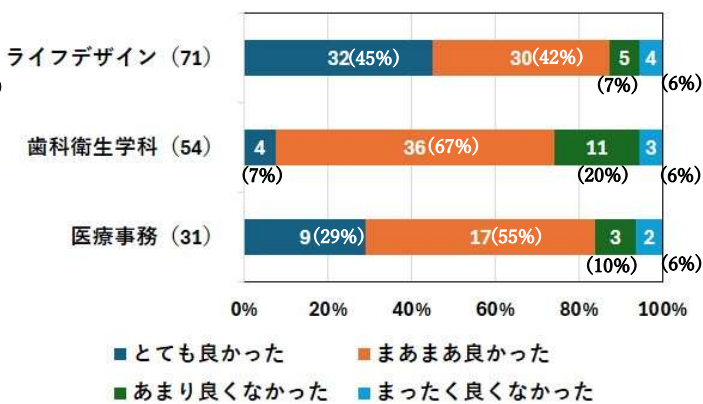


図 問 6-8 の回答結果

問 6-6. ゼミナール

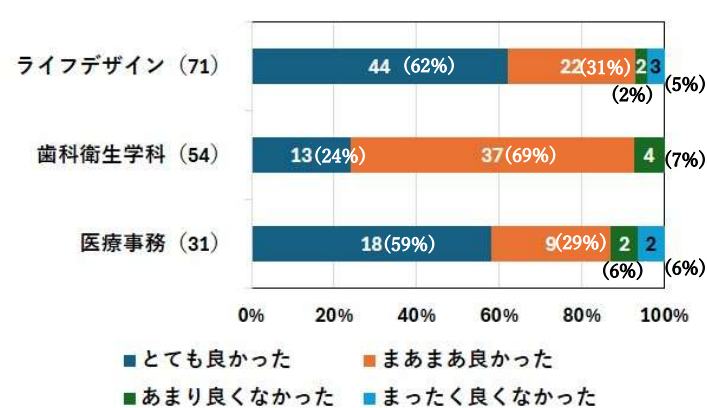


図 問 6-6 の回答結果

問 6-9. 就職支援

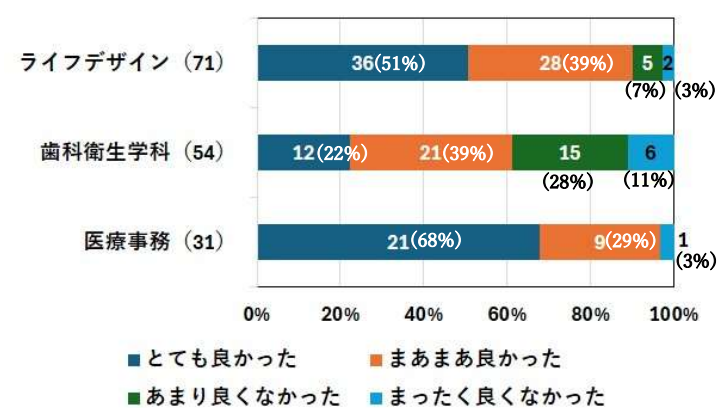


図 問 6-9 の回答結果

問 6-10. 課外活動

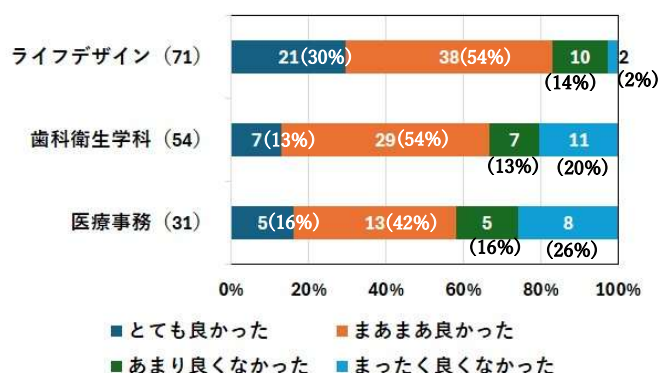


図 問 6-10 の回答結果

問 6-11. キャンパス内の施設・設備

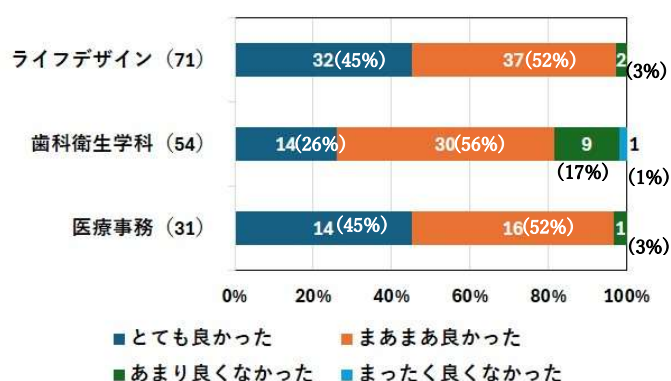


図 問 6-11 の回答結果

問 6-12. 学内イベント・学園祭

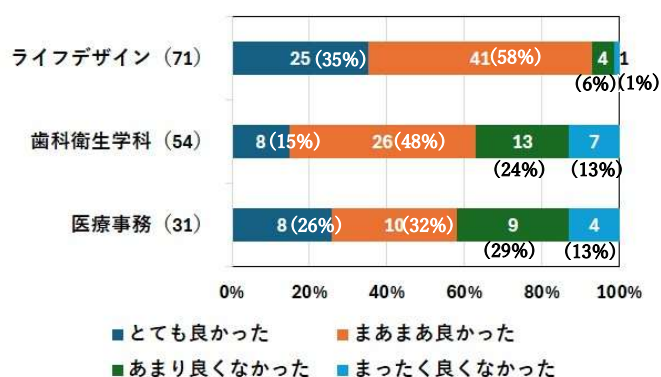


図 問 6-12 の回答結果

問 6 の結果

問 6-1 の本学に入学して良かったと感じているは、「とても良かった」「まあまあ良かった」が各学科 9 割以上となっている。問 6-2 の学修に対する満足度、問 6-3 の卒業後の進路に対する満足度、問 6-4 のカリキュラム、問 6-5 の成績評価、問 6-6 のゼミナールについては、各学科 8 割以上となっている。問 6-7 の留学生制度・留学生との交流は、ライフが 8 割以上、歯科及び医療は 4 割となっている。問 6-8 の学生支援はライフ、医療がともに 8 割以上、歯科が 7 割以上となっている。問 6-9 の就職支援はライフ、医療がともに 9 割以上、歯科が 6 割以上となっている。問 6-10 の課外活動は、ライフが 8 割以上、歯科が 6 割以上、医療事務が 5 割以上となっている。問 6-11 のキャンパス内の施設・設備は、ライフ、医療が 9 割以上、歯科が 8 割以上となっている。問 6-12 の学内イベント・学園祭はライフが 9 割以上、歯科が 6 割以上、医療が 5 割以上となっている。

総括

調査結果から、授業運営や教育内容、学修成果、学生支援に対する評価は全体的に高く、特に専門知識の修得、将来の仕事につながる能力の育成、教職員の教育への取組については、多くの学生から高い評価を得ている。また、大学での学びによる成長実感や本学への満足度も高く、本学の教育活動がおおむね良好に機能していることがうかがえる。

一方で、インターンシップや海外留学・海外研修、留学生との交流など、国際性や社会との接点に関する項目については評価が比較的低い傾向がみられた。また、自主的な学習時間や課外活動への参加時間も十分とはいえず、自主学習や課外活動への促進が課題である。

今後は、現在の教育の質を維持しながら、国際交流の充実、自主学習の促進、課外活動への参加支援を進めることで、学生の学修成果及び学生生活の満足度をさらに向上させていくことが求められる。